

ホントにこわいたたみの知識不足

ご家族が湿疹やアレルギーに悩んでいるお宅です。

お医者さんのアレルギー検査では、ダニとハウスダスト反応が陽性だったそうです。

ざっと見た印象では、風通しが悪く室内の湿度が高いようです。カビの臭いもあります。壁の一部には結露の跡もあります。

診断の結果、たたみを中心にカビの発生とダニの大量発生を確認することができました。長い間、カーペットの重ね敷きをしていたのが、いちばんの原因だったようです。

12年間、たたみの天日干しを一度もしていないということなので、その方法をアドバイスし、念のため私も立ち会うことになりました。

たたみが全部で16枚、庭も狭く、昔風の天日干しはできません。私たちが実践し考案した「簡易天日干し」によって、大人2人が半日程度で終わすことができました。

いつ頃から、天日干しの光景を見なくなったのでしょうか。たたみにそれが不要でなくなったのではなく、面倒だからしなくなったということのようです。天日干しは、カビ・ダニを駆除し、害虫や雑菌の退治もできる優れた習慣でした。

高気密・高断熱・24時間換気の完備した最新住宅でも、たたみの手入れを怠るとダニや雑菌が繁殖します。殺虫剤や化学物質にたよる今の風潮は、逆にシック

ハウス症候群を生み出しています。

このお宅では、畳と板の間にカビが充満し、たたみの縁にはほこりが固形になって詰まっていた、叩くと大量のほこりが粉になって噴き出します。この現象を見て、このたたみはもう使いたくないという悲鳴が上がりました。

たたみは、ダニや雑菌がとても発生しやすい材料です。室温が20度以上、湿度が60%以上で発生しやすくなります。

発生する原因を7つ上げてみます。

たたみの上にカーペットなどを敷いている。

部屋の風通しや換気をしていない。

たたみを雑巾で水拭きをする。

加湿器の使いすぎ。

洗濯物を室内で干す。

室内に盆栽や植木を置いている。

長い間、天日干しをしない。

昔の人の方が清潔だったとは思えませんが、少なくともたたみの手入れについては、現代の方が不潔だと思います。

ぜひ、年に一回程度は、簡易天日干しをして、たたみと板の間に空気を入れ、有害物質とほこりを取り除いてみてください。

